

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年4月2日（木）

2 確認箇所

プロセス主建屋1階（第三セシウム吸着装置ドレン中継タンク）

3 確認項目

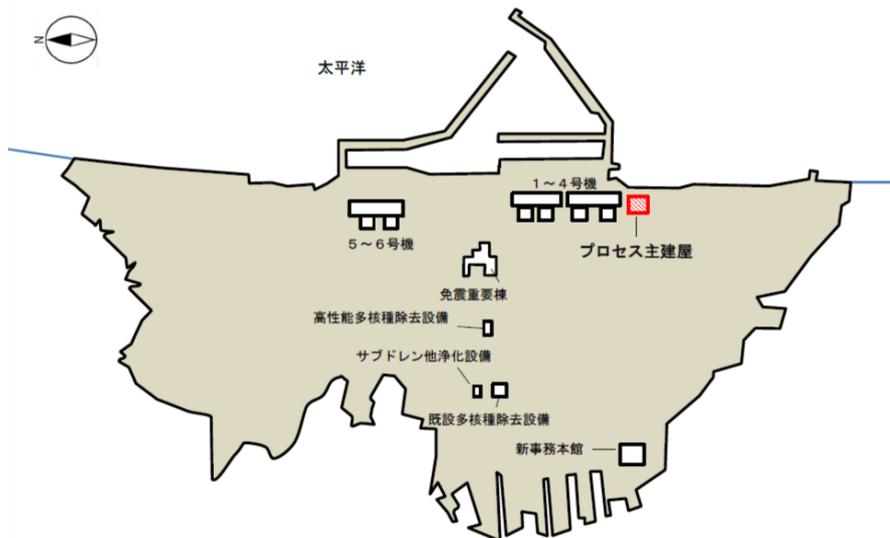
第三セシウム吸着装置ドレン中継タンク下部のにじみの状況

4 確認結果の概要

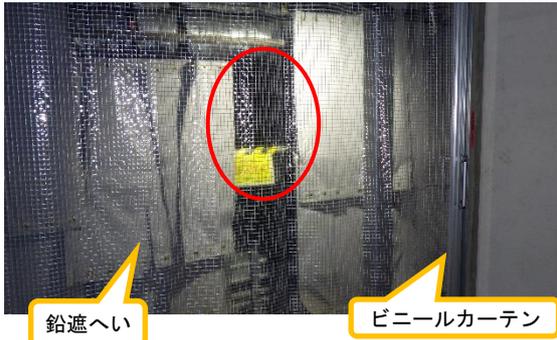
令和2年3月9日、第三セシウム吸着装置ドレン中継タンク下部からにじみが発見され、東京電力関係者による現場確認の結果、当該タンク下部にピンホールあり、ピンホールから約10分に1滴の滴下があることが確認されたことから、現状を確認した。

なお、東京電力によると当該タンク下部には受けを設置済みであり、滴下した水は堰内のため外部へ流出はないとのことであった。

- ・当該タンクが設置されている第三セシウム吸着装置付帯設備設置エリアは鉛遮へいが設置されており、さらにその外側にはビニールカーテンが設置されていた。（写真1）
- ・当該タンク下部からの滴下は本日現場確認した際も継続していた。また、滴下受け用のバケツが設置されていた。（写真2）
- ・東京電力によると、今後は応急措置としてにじみ部の止水及びタンク内部の確認を実施する予定とのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
鉛遮へい及びビニールカーテン設置状況
写真の手前にビニールカーテン、ビニールカーテンの奥に鉛遮へい（灰色）が設置されている



(写真1-2)
写真1-1 赤丸部分拡大



(写真1-3)
ドレン中継タンク外観



(写真2-1)
写真1-3の矢印方向を撮影
赤丸部分で滴下が発生している



(写真 2 - 2)

写真 2 - 1 赤丸部分拡大

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。